

一般講演（口頭発表）におけるプレゼンテーションについて

今大会の一般講演での口頭発表は、すべて PowerPoint または Adobe Reader による発表形式で行います。スライドや OHP、ビデオは原則として利用できません。PowerPoint で PPT ファイルを作成するか、あるいは Adobe Reader で表示可能な PDF ファイルを作成して持参し、それぞれの発表会場のノートパソコンを使用して発表を行ってください。ご自身のパソコンの接続はできません。なお、大会事務局が提供する大会最新情報提供サイト (<http://56.odokon.org/>) には参考となる情報を掲載する予定です。

(1) 使用ソフト：Microsoft PowerPoint 2007 for Windows および Adobe Reader X がインストールされたノートパソコン（OS は Windows X P）を各会場に用意します。

PowerPoint の場合は、拡張子が pptx となったファイルをご準備ください。PowerPoint 2003 で作成したファイル（拡張子 ppt）も読めますが、事前に PowerPoint 2007 でファイルを再生し、動画や画像が正しく表示されるかをご自身でチェックしてください。

(2) メディア：CD-R のみに対応します

メディアは CD-R（650MB か 700MB）のみ使用できます。これ以外のメディアは原則として発表会場では使用できません。CD-R はディスク本体とハードケースの両方に講演番号と氏名をお書きください。ディスクに書く際には油性マジックペンなど先の柔らかいもので、レーベル面に直接お書きください。1つのメディアには、1つの講演ファイル以外は入れないで下さい。

(3) 講演用ファイル：ファイルサイズを小さくすることを心がけてください

ファイル名は必ず「講演番号.pptx、講演番号.ppt または講演番号.pdf（例：A101.pptx、A101.ppt または A101.pdf）」としてください（プレゼンテーションパックの場合はフォルダの名前を講演番号としてください）。特に Macintosh をご使用の方は拡張子(.pptx、.ppt または.pdf)をつけ忘れないようにしてください。また、メディアには単一の講演ファイル（動画のある場合は PowerPoint のファイルとリンクした動画ファイルのセット）、またはプレゼンテーションパック以外は入れないでください。お預かりしたメディアからコンピュータのハードディスクにコピーを作りこれを再生しますが、ファイルサイズがあまりに大きいと、コピーに時間がかかって講演に間に合わなかったり、うまく起動できなかったり、動きが遅くなったりします。動画を含まない講演ファイルは、15分の発表に見合う8～12画面程度のものであれば、画像（写真やグラフなど）を含めてもファイルサイズは数百KB～最大でも 2MB 程度です。ファイルサイズがこれを超える場合は、貼り込んだ画像のファイルサイズが不適正な可能性があります。あらかじめ画像処理ソフト等で実際に使用する解像度に変換して使うか、PowerPoint のファイルの保存時に画像を圧縮してください。PowerPoint のファイルにリンクさせて再生する動画ファイルも、サイズが大きすぎると再生できないことがあります。無圧縮 AVI ファイルは、MPEG や WMV などに変換することによって十分な画質を維持したままファイルサイズを小さくでき、駒落ちなどの不具合を防止できます。ファイルサイズの目安は、3分間の動画で 40MB 前後とお考えくださ

い。なお、再生が終了した講演ファイルは、大会終了とともに事務局にて確実に消去致します。

(4) 動画の再生について

動画を使用する場合は、追加のコーデックを何もインストールしていない状態で Windows Media Player ver. 10 が標準で再生できる形式に限ります (DivX、MPEG2 などにエンコードされた動画は再生が保証できません)。使用する動画は CD-R の同一階層と一緒にコピーして下さい。また、リンク切れを防ぐため、CD-R にコピーした後、作成したマシン以外からプレゼンテーションを実行し、リンク切れがないかご確認下さい。

(5) 前の講演中にメディアを頂きますので、会場に早めにお越しください

講演者の方は自分の発表の少なくとも 30 分前には会場にお入りください。前の講演者の発表が始まったら、講演用ファイルを入れたメディアをオペレータに手渡して下さい (CD-R はケースごとお渡しください)。オペレータは該当する講演用ファイルをコンピュータのハードディスクにコピーし、これをスライドショーとして起動して、講演開始とともにスクリーンに投影します。講演の開始時点で、最初のスライドが投影されている点をご了承ください (1 枚目のスライドはタイトルとされることをお勧めします)。講演時は、マイクおよびレーザーポインタをご使用いただきます。コンピュータのオペレーション (リモコン操作) は原則としてご自身でお願いしますが、これが不都合な場合はオペレータがアシストいたします。また、講演者の右または左前方には、時計係を配置し、予鈴 10 分、本鈴 12 分 (講演終了)、終鈴 15 分 (質疑応答終了) にそれぞれ、1 回、2 回、3 回ベルを鳴らします。時間経過を確認しながら、超過のないように発表をお進めください。講演終了後は次の講演の座長をお願いいたします (午前と午後の最初の講演の座長は、大会事務局で手配します)。座長席にお座りいただいている間に、講演で使用したメディアを返却いたします。なお、午前と午後の第 1 番目の講演者の方は、講演時間の 15 分前までにメディアを発表会場のオペレータに手渡して下さい。

(6) 事前に PC ルームにて試写をお願いします

トラブル発生をできるだけ防ぐため、大会期間中会場内に設置する「PC ルーム」にて、必ず発表前に講演ファイルのウイルスチェックと試写をお願いいたします。ここでいう試写とは、講演ファイルを作成したコンピュータ以外のコンピュータで再生することを意味します。特に Macintosh をご利用の方は Windows マシンでの再生を試してください。メディアに関する不測の事態を回避するために、CD-R の他に USB メモリーで講演ファイルを持参されることをお勧めします。ただし、USB メモリーによるファイルの受け渡しは PC ルームに限られ、会場では CD-R のみですのでご注意ください。また、PC ルームには会場と同型のリモコンを用意しておきますので、あらかじめ操作の練習をしておかれることをお勧めします。